

実行委員長を終えて

令和6年度(第32回)三重大学技術発表会が2月14日に開催され、盛会のうちに終了できましたことをご報告させていただきます。

アフターコロナに移行して2年近くが過ぎ世の中が落ち着きを取り戻すとともに、大学キャンパス内外の学生活動も目に見えて活発となり、コロナ禍以前とはまた違った賑やかさを取り戻してまいりました。

その陰に隠れ、コロナ禍の影響を余儀なくされた業務活動の再起動・回復や技術の維持に当たられた技術職員の方々の奮闘は想像に難しくなく、またその果たす役割も変化しているように感じられます。

本技術発表会は、技術職員が在籍する工学部技術部、自然科学系技術部、フィールドサイエンスセンター技術部の各技術部が、持ち回りで実行委員会を担当していることから多種多様な内容となっています。

今回53名の方に参加をいただきました。学外からは名古屋工業大学、静岡大学、岐阜大学、国立遺伝学研究所、名古屋大学の方々にご参加をいただき、名古屋工業大学、静岡大学の方々にはご発表していただきました。この発表会を通じて得られた新たな視点や気づきは、技術職員にとって日常の業務や組織運営を行う上で、大いに影響かつ役立つものと期待します。

最後に多くの皆さまと会する機会を得られましたことに感謝いたします。

お忙しい中、貴重なご発表をしていただきました技術職員、ならびにご参加いただきました皆さまには心より厚く御礼申しあげます。また、企画総務部人事労務チームと技術職員研修委員会の皆さまには本発表会の運営にご尽力いただきましたこと、この場をお借りして御礼申しあげます。

2025 年 3 月

三重大学技術発表会実行委員会
実行委員長 加藤 元 保